

令和5年2月28日

報道関係各位

株式会社南紀白浜エアポート
日本電気株式会社
株式会社オリエンタルコンサルタンツ

「2022年度インフラメンテナンス プロジェクト賞」受賞（土木学会） ～「ドライブレコーダー×AI」を活用した空港滑走路の調査及び点検～

株式会社南紀白浜エアポート、日本電気株式会社、株式会社オリエンタルコンサルタンツは、この度「ドライブレコーダー×AI」を活用した空港滑走路の調査及び点検（以下、ドラレコ点検）において、土木学会インフラメンテナンス総合委員会が主催する「2022年度インフラメンテナンス プロジェクト賞」※1を受賞しました。

インフラメンテナンス プロジェクト賞は、インフラメンテナンスにより地域のインフラの機能維持・向上に顕著な貢献をなし、地域社会の社会・経済・生活の改善に寄与したと認められるプロジェクト（マネジメント、ビジネスモデル、制度設計等に関連する総合的なプロジェクトを含む）を対象としています。

■ドラレコ点検の特徴

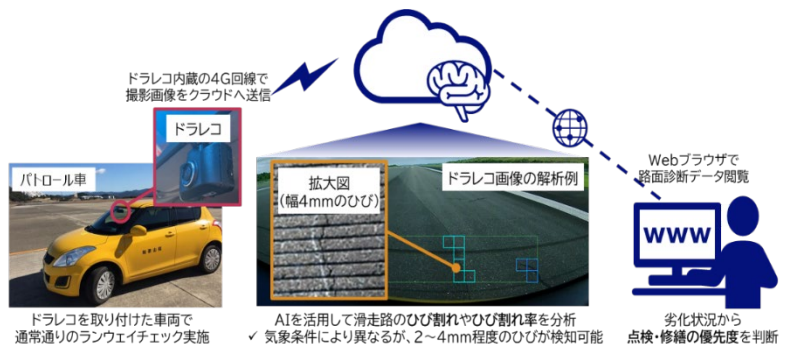
空港において、車両を運転しながら「目視」で実施している滑走路等の日常点検及び巡回点検を「AIによる自動検知」に置き換える取組みです。具体的には、ドライブレコーダー（以下、ドラレコ）を設置した点検車両が、滑走路の点検（車両走行）時に路面の状況（映像）をドラレコに記録し、その画像から学習を重ねたAIがき裂・損傷を自動検知するものです。

この技術の実用化により、滑走路における飛行機の離着陸に影響を及ぼす**損傷の見落としリスクを軽減**させるとともに、**点検者の技術力に依存しない定量的な把握が可能**となりました。

【パトロール車によるドラレコ点検】



【AI解析】



パトロール車によるドラレコ点検とAI解析の様子

※1：土木学会（JSCE）2022年度インフラメンテナンス賞の発表

<https://inframaintenance.jsce.or.jp/hyousyou/announcement2/>

■今後の展開

本取り組みの実用化により、主に保守点検の人材に限られている地方空港において、空港職員が目視で実施している滑走路の日常点検をドラレコの画像データによる自動点検に置き換えることで、点検者の技術力に依存しない定量的な点検が可能になります。更には、軽度なき裂・損傷を早期に発見・補修する予防保全の実施により、空港の更なる安全安心を実現します。

<本件に関するお問い合わせ先>

- 株式会社南紀白浜エアポート 担当：池田
E-mail: info@nsap.co.jp TEL:0739-43-0095 URL: <http://shirahama-airport.jp/company>
- 日本電気株式会社 担当：岩渕
E-mail: infra-diagnosis@sdd.jp.nec.com URL: <https://jpn.nec.com/>
- 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 統括本部：伊藤、丸山、門司
E-mail: webmaster@oriconsul.com TEL:03-6311-7551 URL: <https://www.oriconsul.com/>